

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	徳永、村石、加藤
	全体計画			経費区分	-	内線	3137、3139
事務事業名	4044 地域活性化事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	07024100 特色をいかした地域振興の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020114 総務費・総務管理費・地域振興費					
	事業	010000 地域活性化事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域づくりの理念に基づき、市民との共創で須坂市に しかない地域資源を全国に発信する事業を企画実施し、 須坂ブランドを確立し育て、交流人口を増やすととも に市民の誇りや地元愛を醸成する。				「地域情報チャンネル番組作成」や「まち歩き」誘 導型情報配信プラットフォームの運用、フェイスブ ック等を通じ、全国に向けて須坂市のPRを行うととも に、「ふるさと信州須坂のつどい」、「信州須坂ふる さと応援団」等の取り組みにより、人的ネットワー クの確立を図る。 また、「クリスマスレクチャーin須坂」の開催や地域 づくり団体への支援を通じ、須坂市の優れた地域資源 を再認識するとともに、テレビ、ラジオなど様々なメ デиаと連携することで相乗効果をあげ、須坂ブラン ドの確立を総合的に推進する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
「ふるさと信州須坂のつどい」を初開催し、以前から実施している「信州須坂ふるさと応援団」、「信州須坂ふるさとフェア」と併せ、持続的な地域活性化につながるるとともに、全国に向け須坂の情報発信を行い、人的ネットワーク確立のための環境を整えた。	民間委託により、「プロモーション事業」を通年で全国展開した。「クリスマスレクチャーin須坂」、「ふるさと信州須坂のつどい」の開催、「信州須坂ふるさと応援団」の団員拡大など、人的ネットワークの構築を図った。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
「信州須坂プロモーション事業」を展開し、「クリスマスレクチャーin須坂」、「ふるさと信州須坂のつどい」、「信州須坂ふるさと応援団」と併せ、持続的な地域活性化につながるるとともに、情報発信を行った。	「信州須坂プロモーション事業」の展開及び「まち歩き」誘導型情報配信プラットフォームの構築等による情報発信、「クリスマスレクチャーin須坂」「ふるさと信州須坂のつどい」等による地域活性化と人的ネットワークの推進を図った。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
「まち歩き」誘導型情報配信プラットフォームの運用等による情報発信、各種イベント開催による地域活性化と人的ネットワークの推進、県補助金、地域活性化センター助成金を活用する中、地域おこし協力隊の活動を通して移住支援を行った。	「まち歩き」誘導型情報配信プラットフォームの運用等による情報発信、「結婚相談事業」の委託や「クリスマスレクチャーin須坂」の開催等により、地域活性化と人的ネットワークの推進を図る。

指標名	信州須坂ふるさと応援団				
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				890
	実績	727	1,371	3,050	2,918
指標選定の理由	累計応援団員数				
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		33,792	8,645
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	1,626	761
	地方債	0	0
	その他	4,742	5,000
一般財源		27,424	2,884
人員数(人)	正規職員	1.4	0.7
	嘱託職員	0.6	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,601.2	4,800.6
	嘱託職員	1,635.0	1,362.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	11,236.2	6,163.1
市民一人当たりの経費		0.9	0.3
総額		45,028.2	14,808.1

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	103	謝礼
11節 需用費	357	燃料費 印刷製本費
13節 委託費	9,128	地域情報チャンネル番組作成委託料 AR(スマートフォンを使った拡張現実)システム運用委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,685	クリスマスレクチャーin須坂実行委員会負担金 地域おこし協力隊須坂温泉負担金
その他	19,519	地域おこし協力隊報酬 地域づくり団体等活動支援貸付金

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	137	謝礼
11節 需用費	60	消耗品費
13節 委託費	2,213	地域情報チャンネル番組作成委託料 結婚相談事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,002	クリスマスレクチャーin須坂実行委員会負担金
その他	5,233	地域づくり団体等活動支援貸付金

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	第五次須坂市総合計画の将来像である「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち須坂」を達成するためにも知名度アップが必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	ARシステムの運用等、各種事業を通じて須坂を発信することにより、地道に「ほんもの」を磨く作業は不可欠である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	市ホームページ、ツイッター、フェイスブック等を活用することにより、知名度は徐々に上がってきている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域おこし協力隊による移住支援や、PR事業等により須坂の認知度向上のために全国へ情報発信を行うとともに、遠藤守信信州大学特別特任教授プロデュースによるクリスマスレクチャーにおいて、地域や地元高校生との関わりを大切にしながら、文化都市須坂としての意識の高揚を図ることは、今後も引き続き行っていく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
-----------	------------

総合評価コメント

須坂市の認知度を高めるためには、市民の皆さんがふるさとの自信と誇りを培ったうえで、外部に対する情報発信を工夫しながら継続していく必要がある。

2次評価コメント

人を集め、人とのネットワークづくりを進めた。更に、地域に人を呼び、集い、賑わいのある地域づくりが必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
-----------	------------

外部評価コメント

市民がまちの良さを再認識し、PRする行動につながれば、「須坂」ブランドが確立され、知名度も上がるのではないかと。移住定住を検討している方々や全国に、さまざまな機会や媒体を利用して、須坂の良さを信じていただきたい。